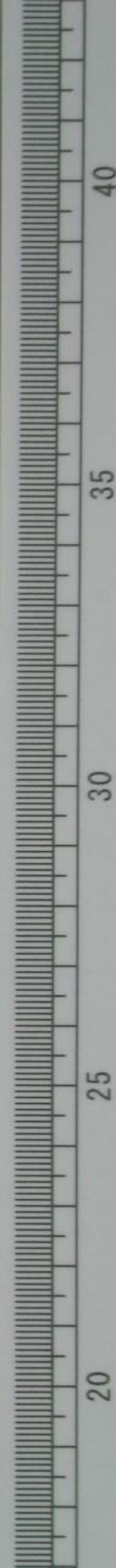


名物鹿子上

5
1810
1



名物麻子

東上



利
1810
1

1810
1-3

1810

乃物子
は移有山居

自和山新
始識自東都人
高深士
露月山
宝曆元年辛未
ハナハナ



俳撰如落月安多
工案と先々一東都の字
寺有、橋、町、よ、か、れ、る、に
人偏あり、い、ま、里、を、東、の
あ、く、は、ら、あ、れ、し、く、と
然、と、あ、と、あ、と、あ、と、

饗庭文庫

藤原

蔵



其まゝに揺る月
昔も新しき格
時の瘦弱拂ぬ人
の如く少く東
都、不新おもしろ
仇も少く新

哀樂も外は
運氣も

韋駄天は

もやに遠く

露も少く
高き大部

浪州
江戸人始末
元文四年

子孫と懐く 行朝高

五十二 史述



序文書

江原順安之

題夏始

空より霜乃宿とすくか電も外

題涅槃會

凍解や流る双樹に流る

題花見

華乃心何より下戸を松の香

秋

業 子 宇 北 肩 下 乃 二 梅 菊

山夕

和推

泊山

成屋

類義草条

約歌と備わく花は秋葉

貞山

煉

村産り〜〜〜のそ川と援

水國

夏

車川梅河かやうな暑さうか

来川

春

常解や寺とわ〜〜〜乾岩やや

乾什

梅咲や梅〜〜〜乃門造ひ

百洲

夏

鴨牛の道と休む〜〜いん

壺月

春

梅の下と雪と冬と春と

常仙

夏

照はる〜蓮の盛る〜

尾谷

又

野神明市

秋のハ秋と〜〜〜

一漁

秋

さうのうや重なるれ散る

起波

夏

富士消これいづれま素風

湖十

春

初丁や羽屋まよる鶴舟焚

逸志

又

野溪草市

わさびつるし作是る原市崩

貞佐

白ふ交情を感心——續ふ

風姿を何〜い浪の音

よる暮敷〜八百八町

度きふ坐——霞有海

て高つる里海ふ船忘花地草

そ〜野ふ種ある草〜

乃露月を何〜を歌ふ

玉の吟ほきと想ちんを
 七十老山夕五千叟の席
 ふ縹々く中侍れ

東浩提筆

江戸紫

翻鶴堂

千里

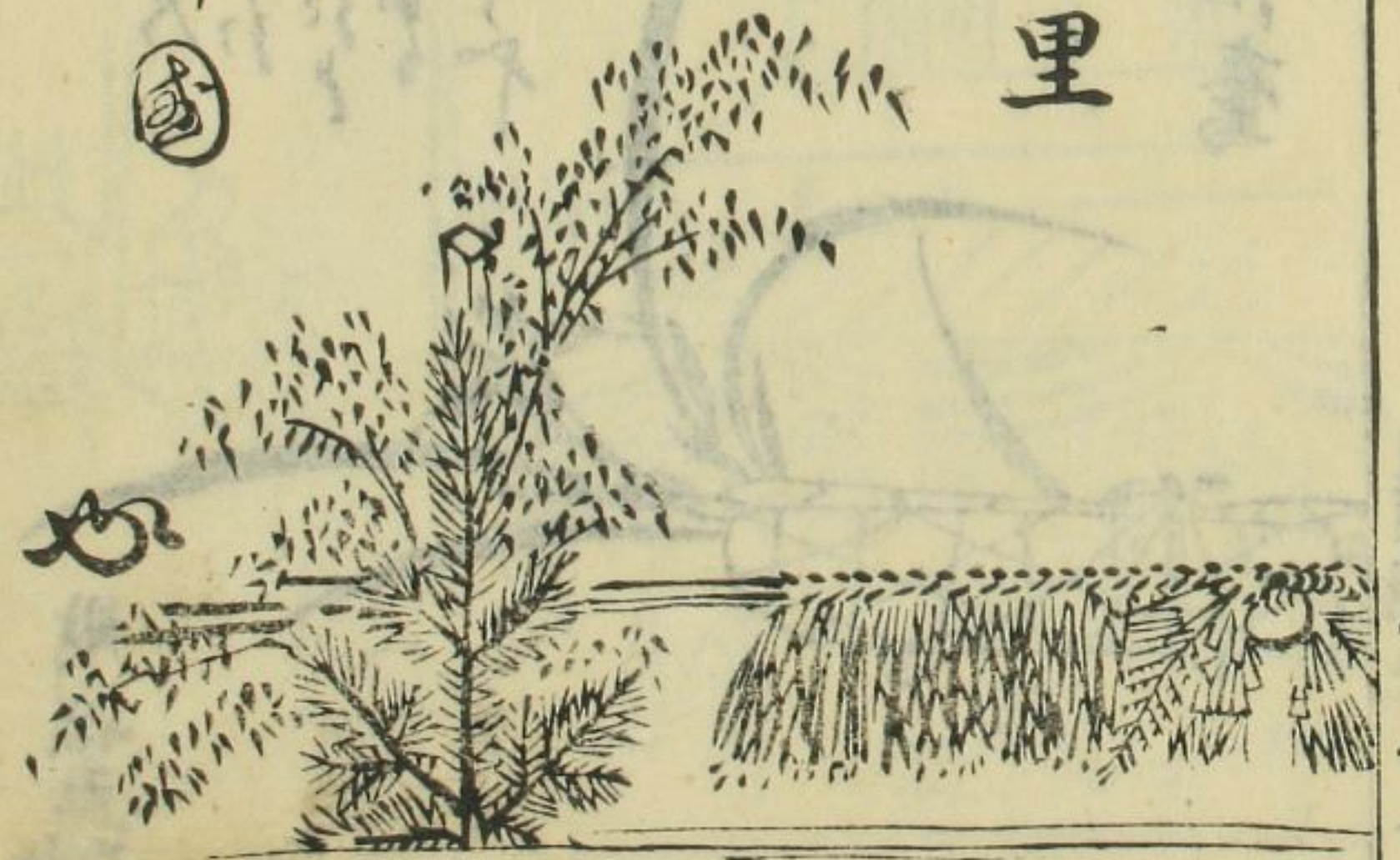
元日や

しうに

無休

秋津

⑤



三

千住川上は勝

下の...又...
穀餅を小...
い...
あ...
や

花餅

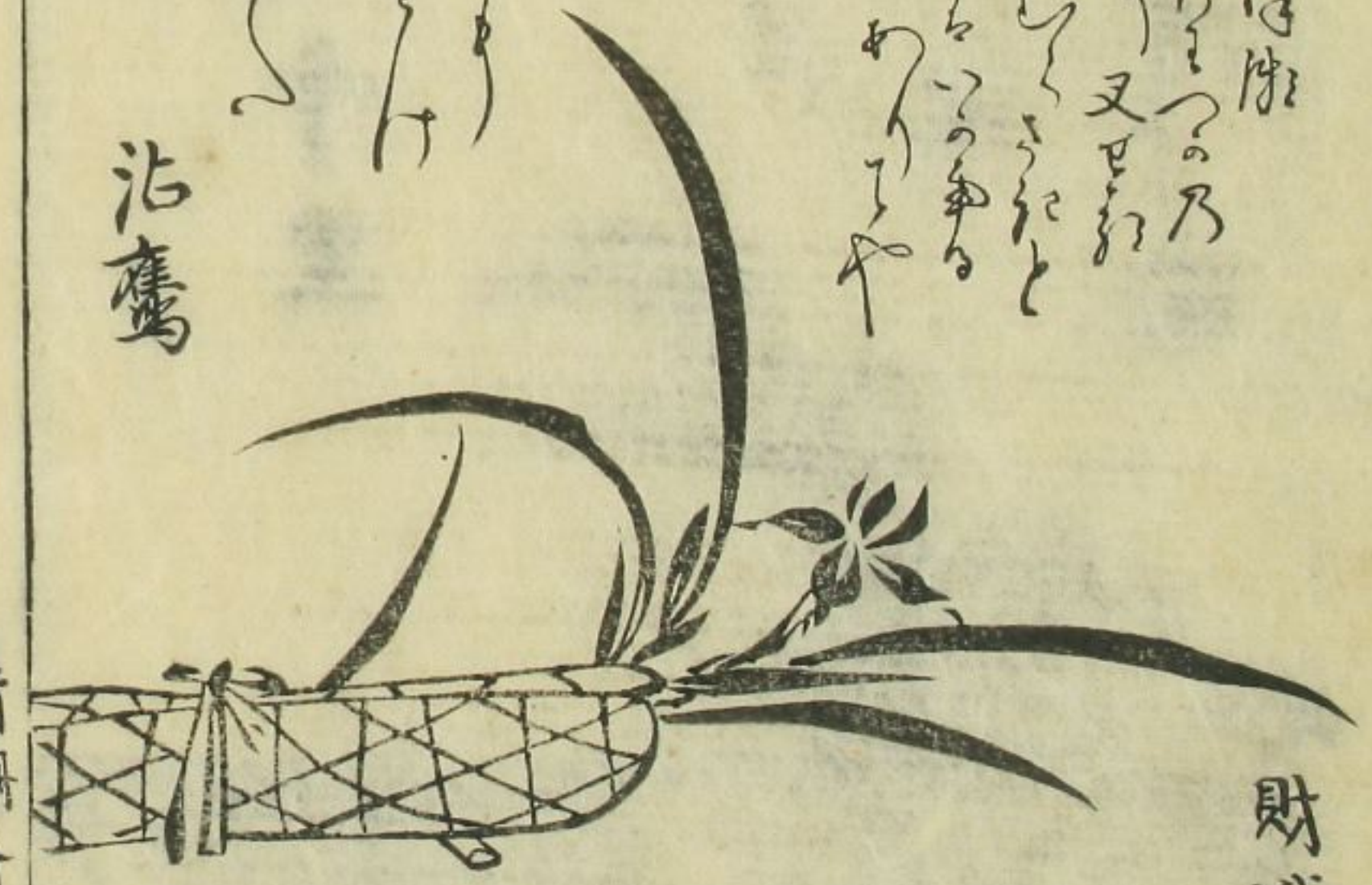
うん...
...
...

...
...

沾鷹

財峨画也

行轉齊乞之



十間店雛市

今
醉人

十...
...

...

四徑堂

周角



鹽瀬饅頭

糖開

人

服紗

蘭臺

北沖



葛西

海苔

蘭徑

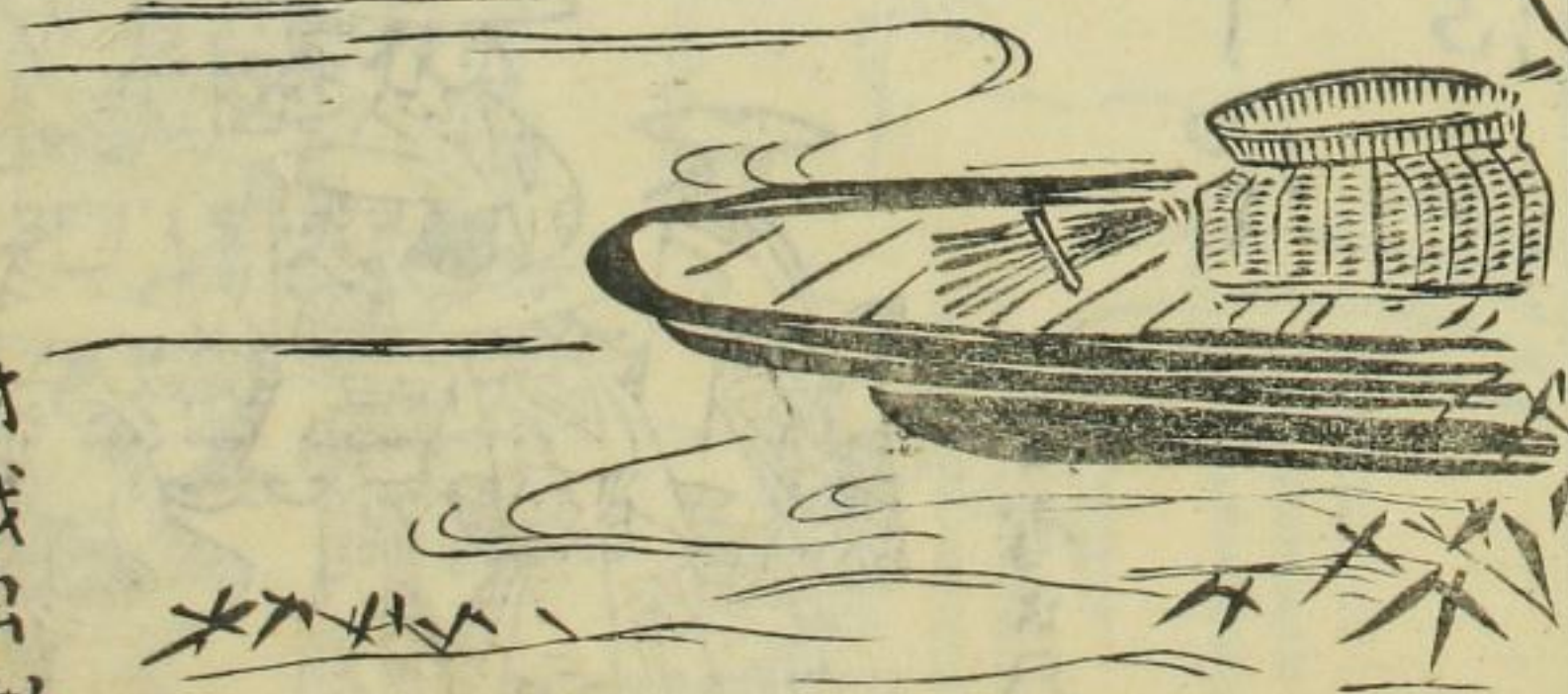
人

舟

経

人

財城



築田
綱引



日雪文

水戸綱引
麻子能屋補也

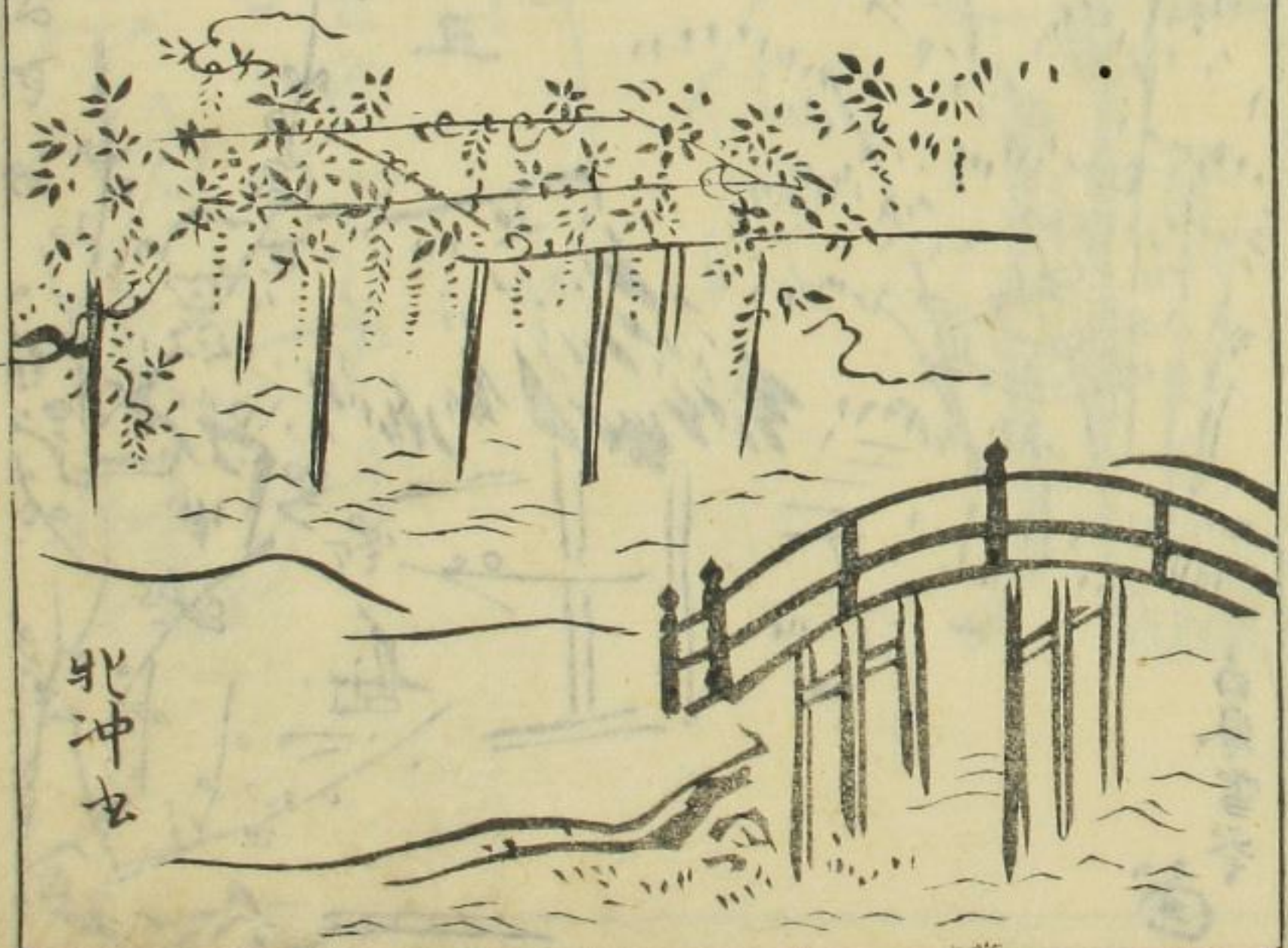
九日下
玉沾

亀戸藤

河川
東

若見
神子乃
寄河也

荷水堂
泉柳



北冲也

卧龍橋

金園

筆

其

也

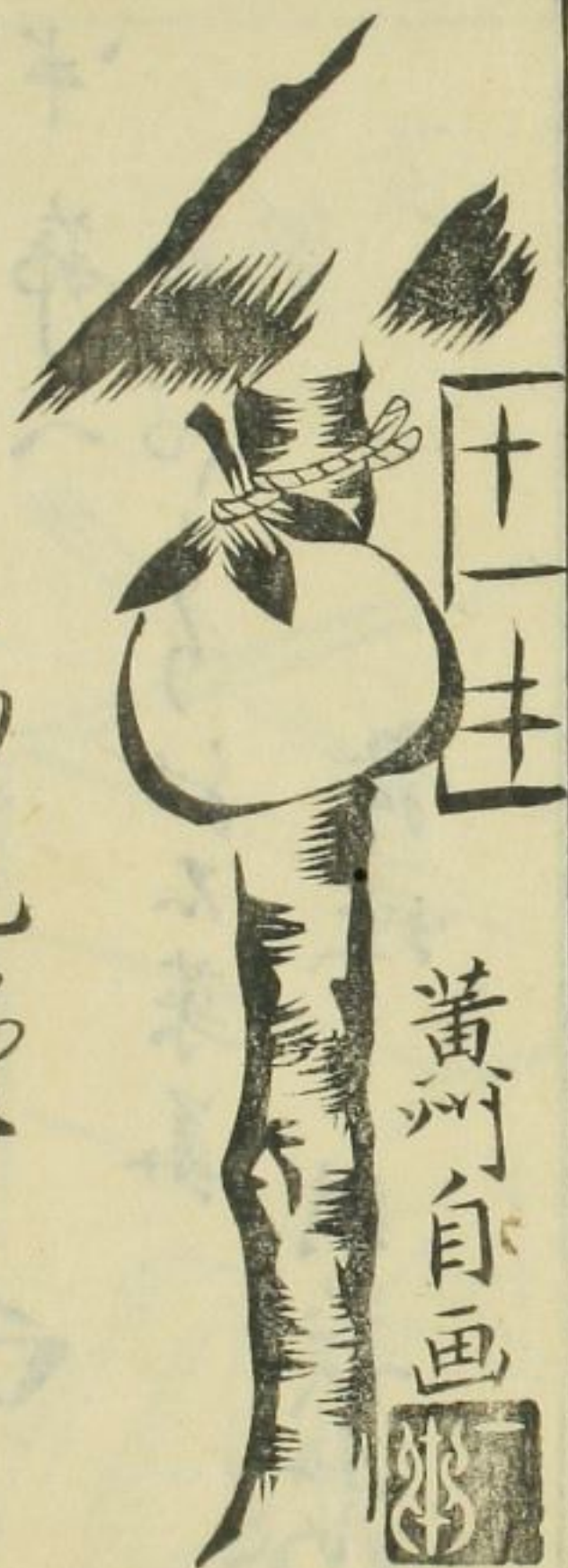
屋

桃丑



白身雪岑

印



黃州自画

印

勤化

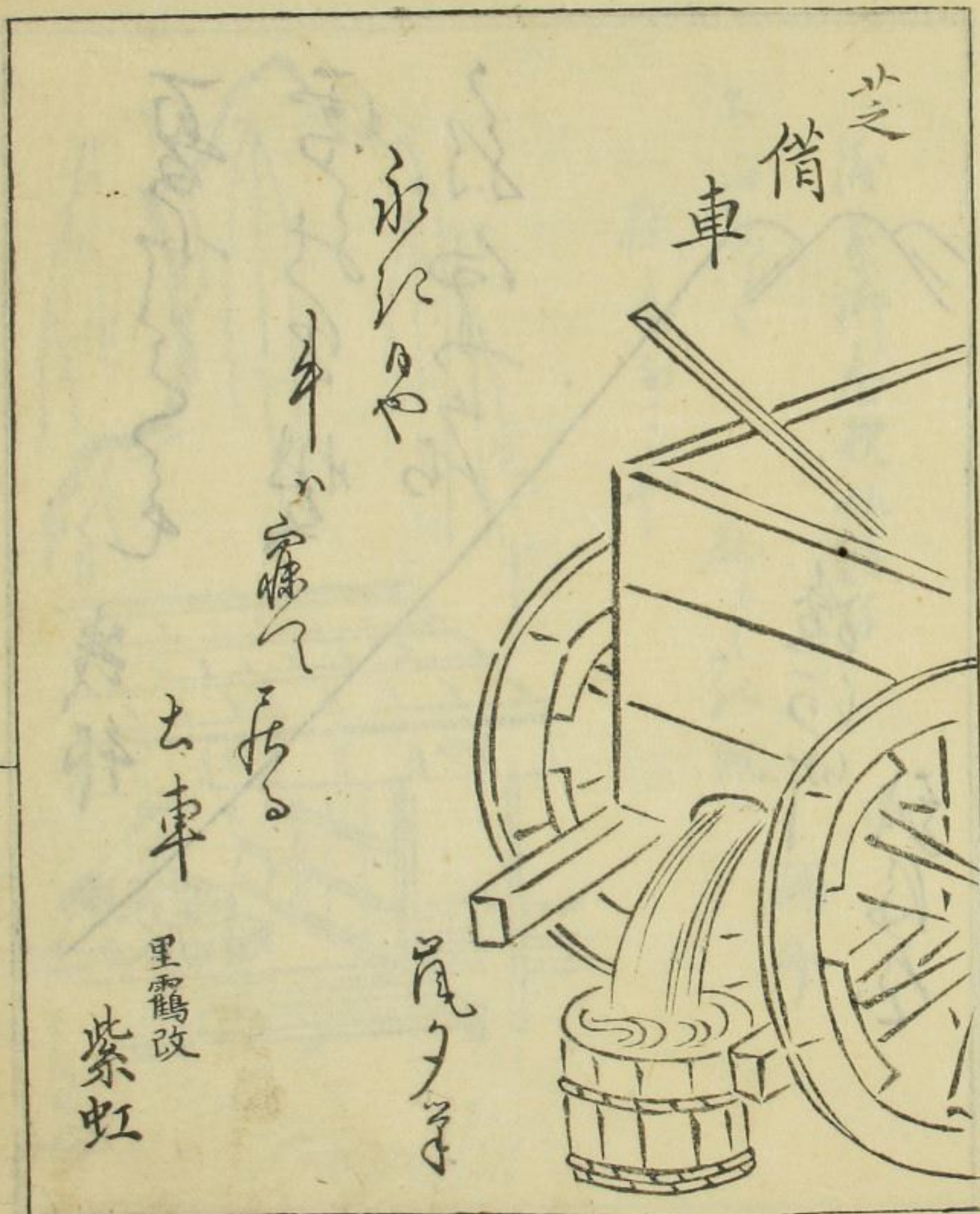
生

生

勤化



半節へ
車
やとり
石菜
舞
財我画



芝
僧
車
水江
牛
大車
里鶴改
紫虹



溪東柳花扶杖子

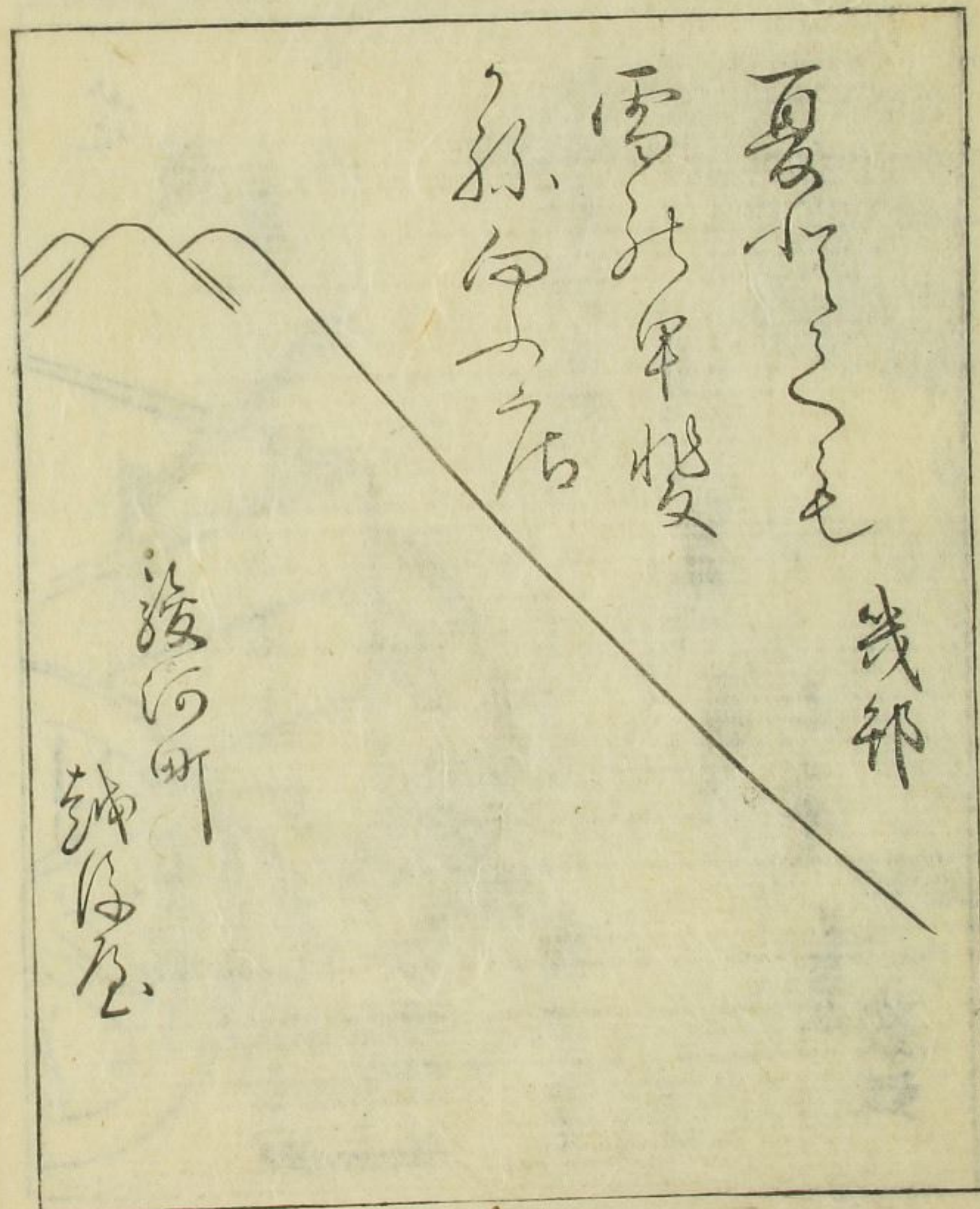
山家

柳花

山家

謙亭

長安



夏水

溪郊

雪林

山家

溪河

山家

歳時



新
川
橋
へ
春
也

長
川

雪
水
画

駒込富士夢藁蛇

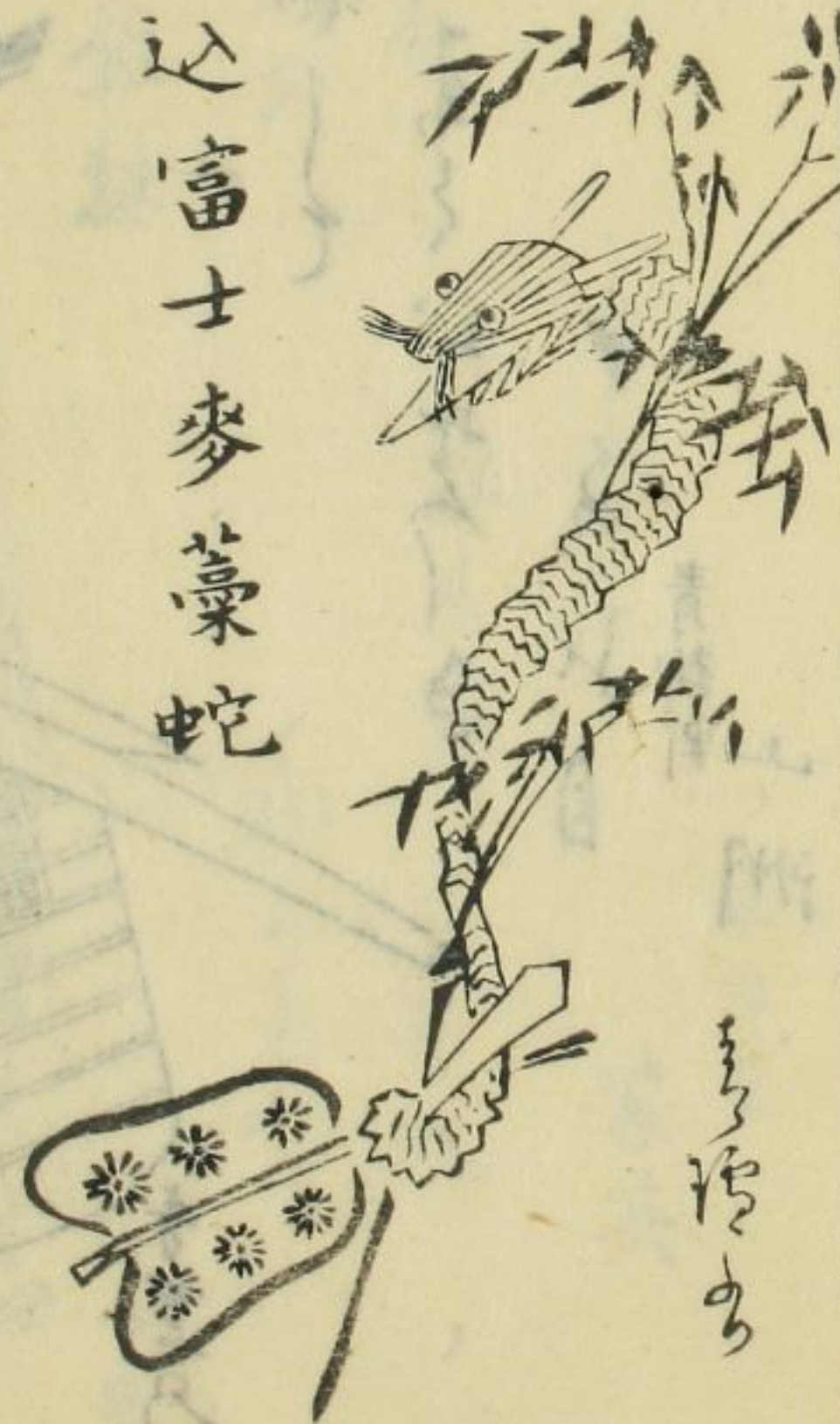
是を
唐
富士
の

和
光
の

世
所
蛇

梅
隣
舎

界
池



三
つ
つ
り

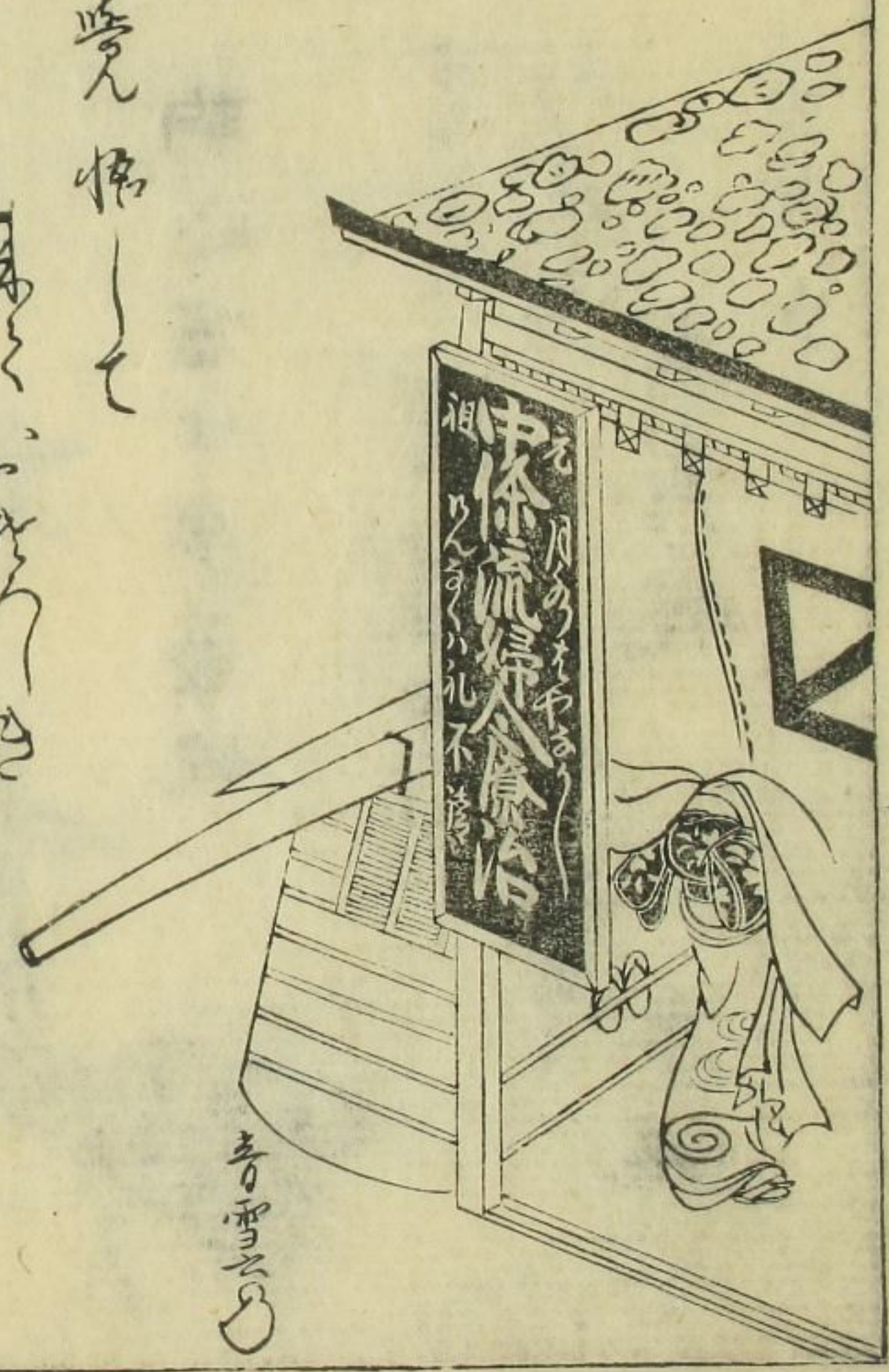
覚悟し

まゝおやう

ふれ目

青柳軒
山洲

雪の



水岸堂

紫英

まゝなる

浄土寺

鼓も片や

門外

水うみ

乃盤鼓

ねる



懷中將集

鶴林堂

内藤翁

仙と如く

素水

為らん約の

是花

神田青物

是

いさ野け

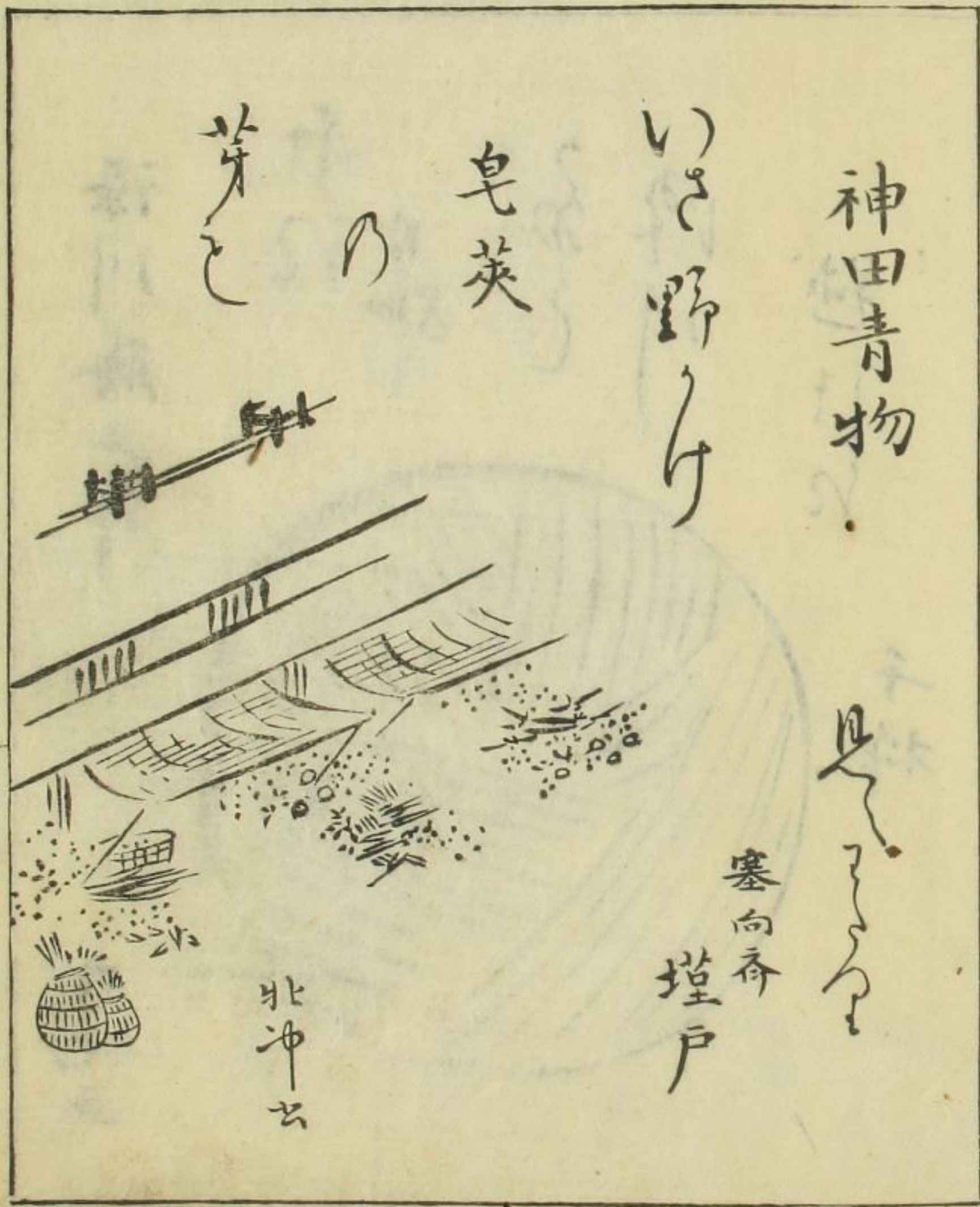
塞向奇

塙戸

皂莢

乃

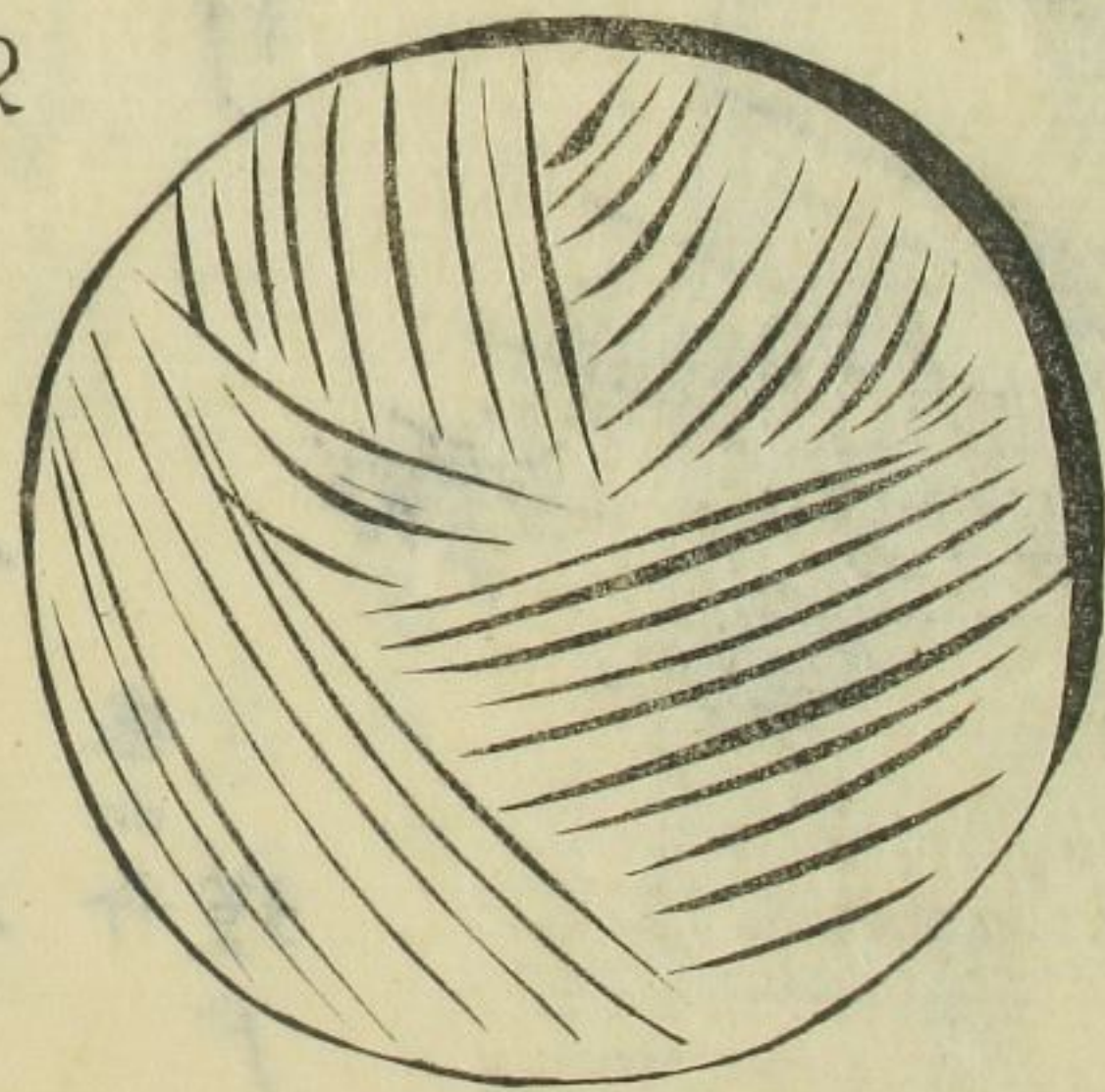
芽



北冲云

漆川勝三郎

弋池画



永江
多
漆川
越江

千株

大木傳中郎

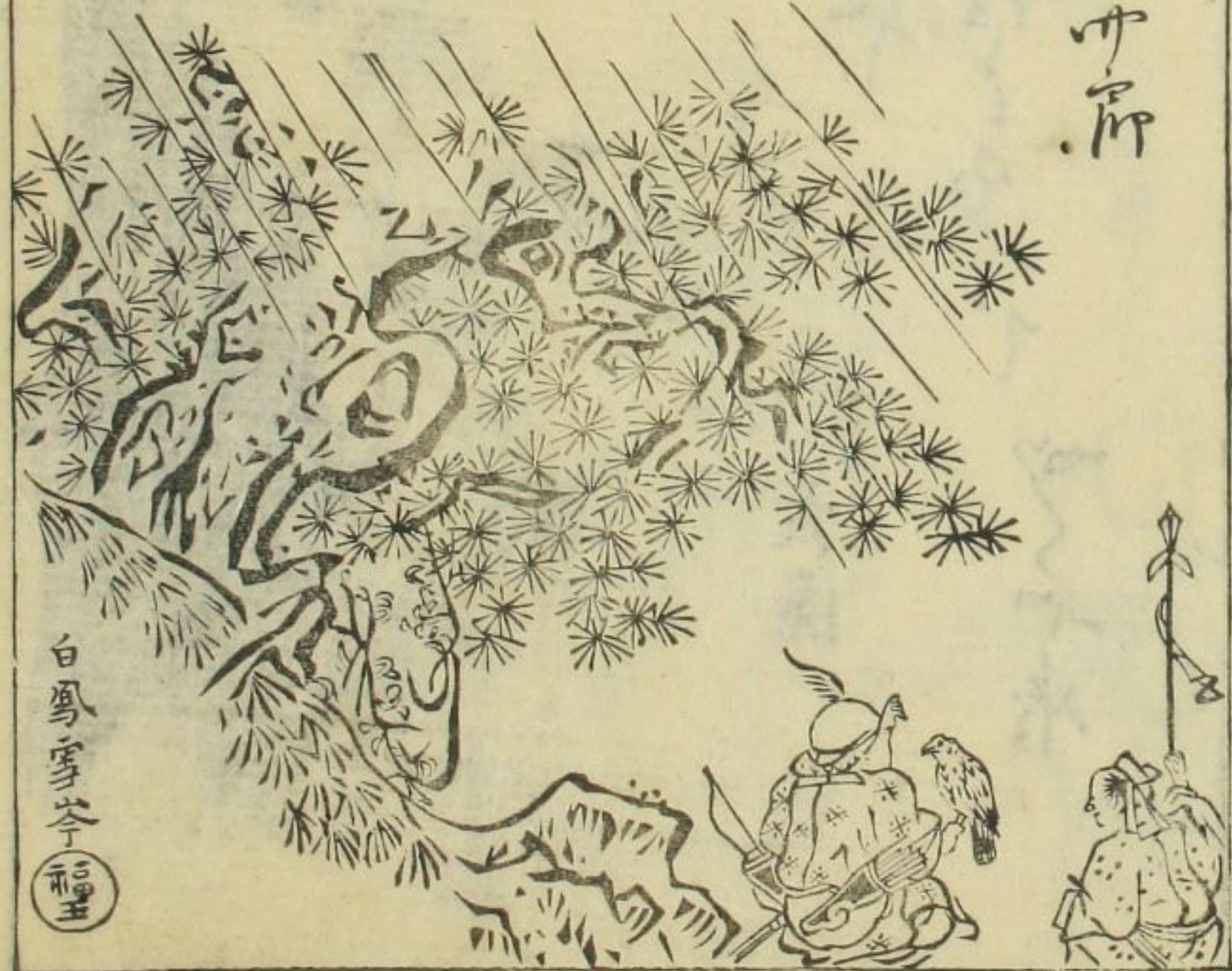
永江

大木

一の

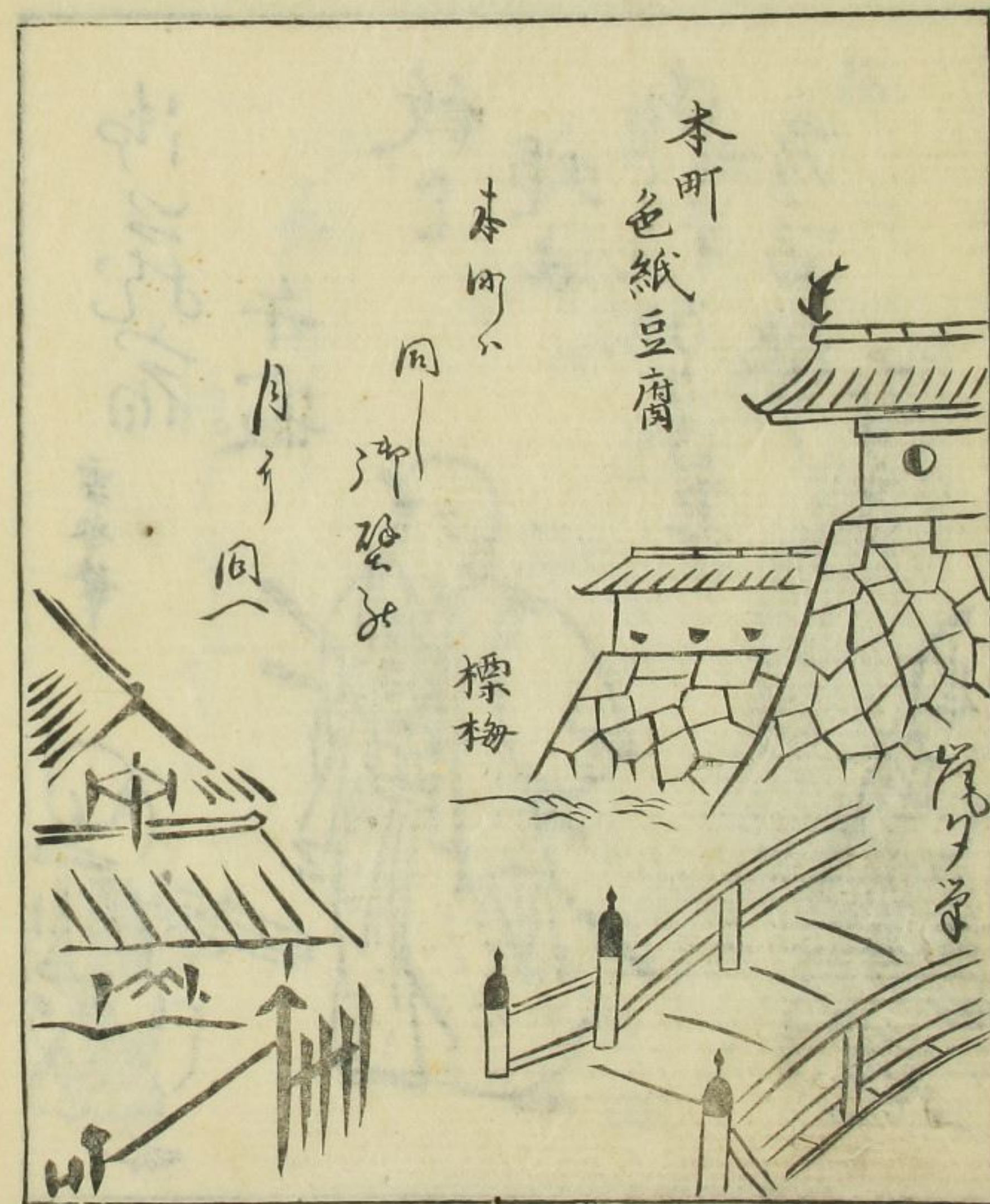
一

重山



白鳳亭
福玉



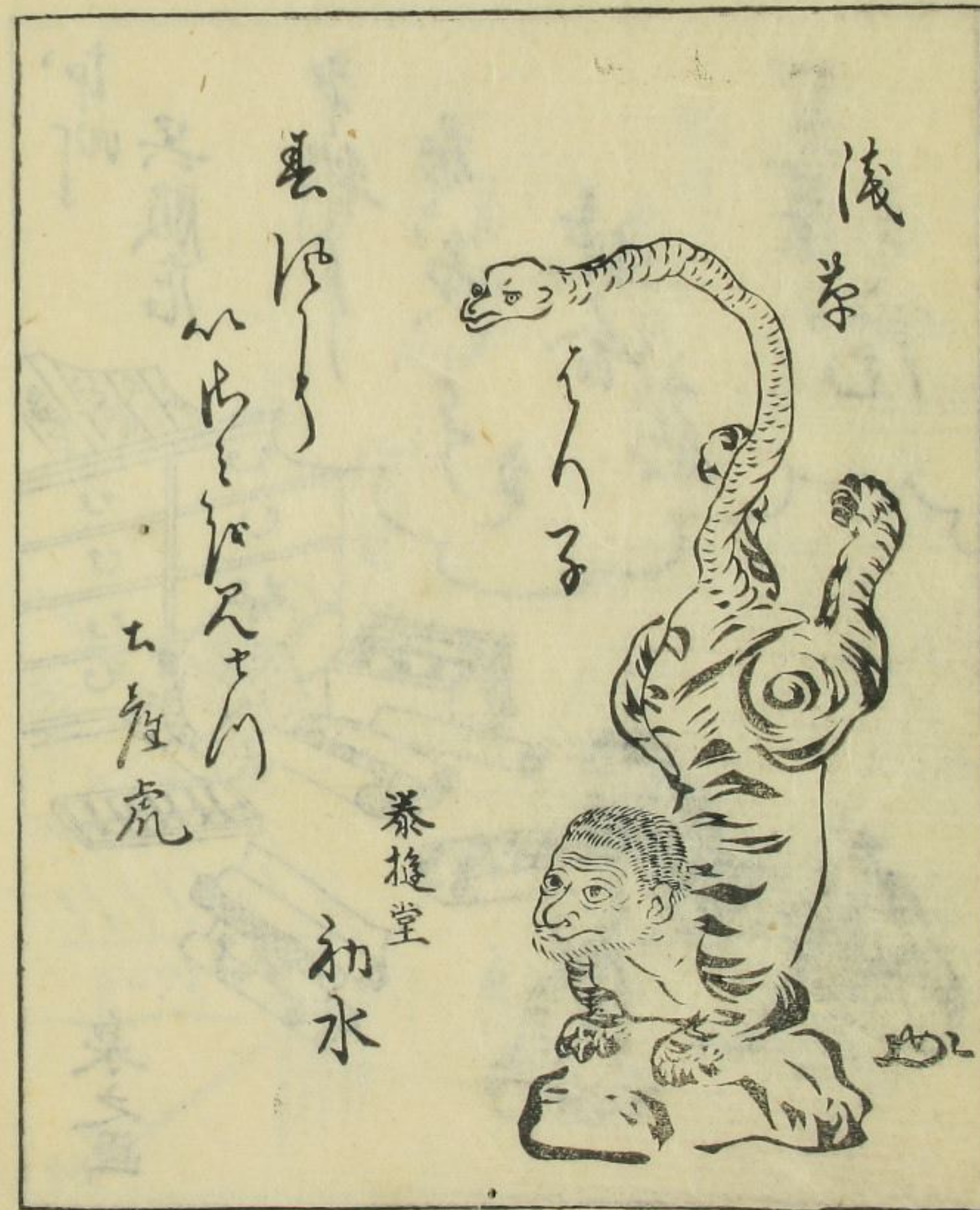




針はきり雲井の時鳥

兩替町金銀

紫荷



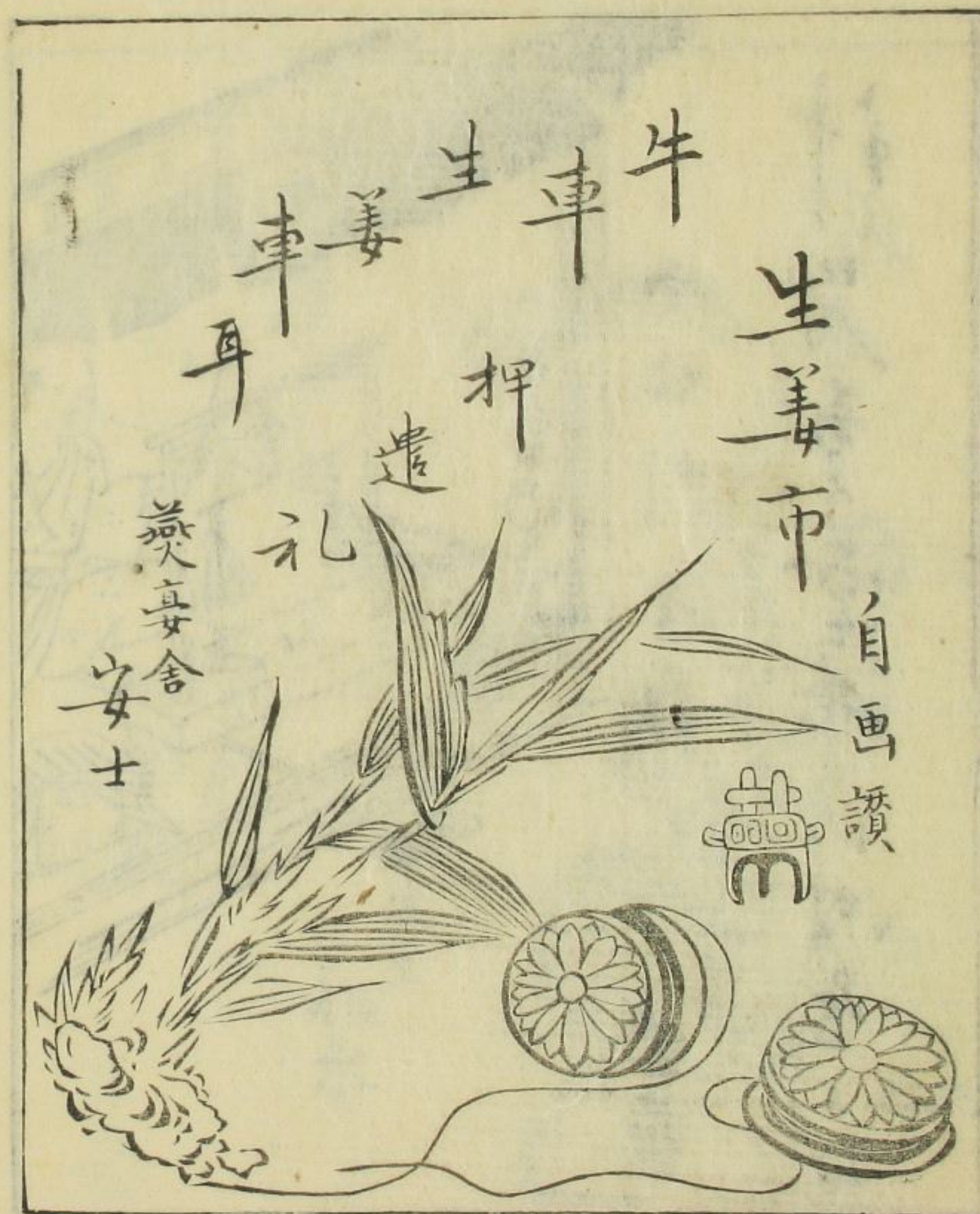
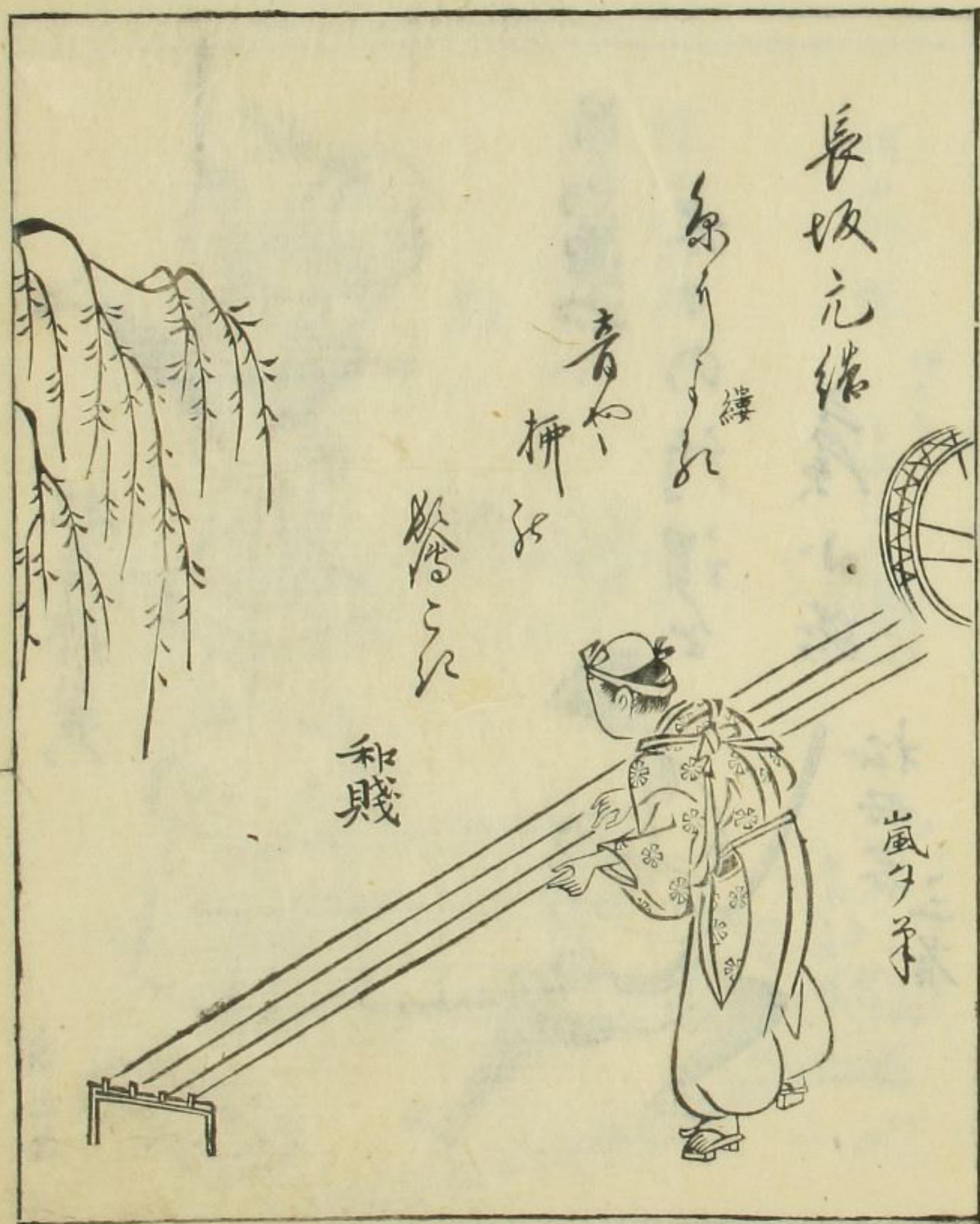
後茶

人子

恭提堂

初水

長江
心はくはく
土産虎



松井源庵

泉之画



日蓮

太刀の所渭を

廣小路

松好客
三省



隅田川蜆

梅荳居

沾峨自画

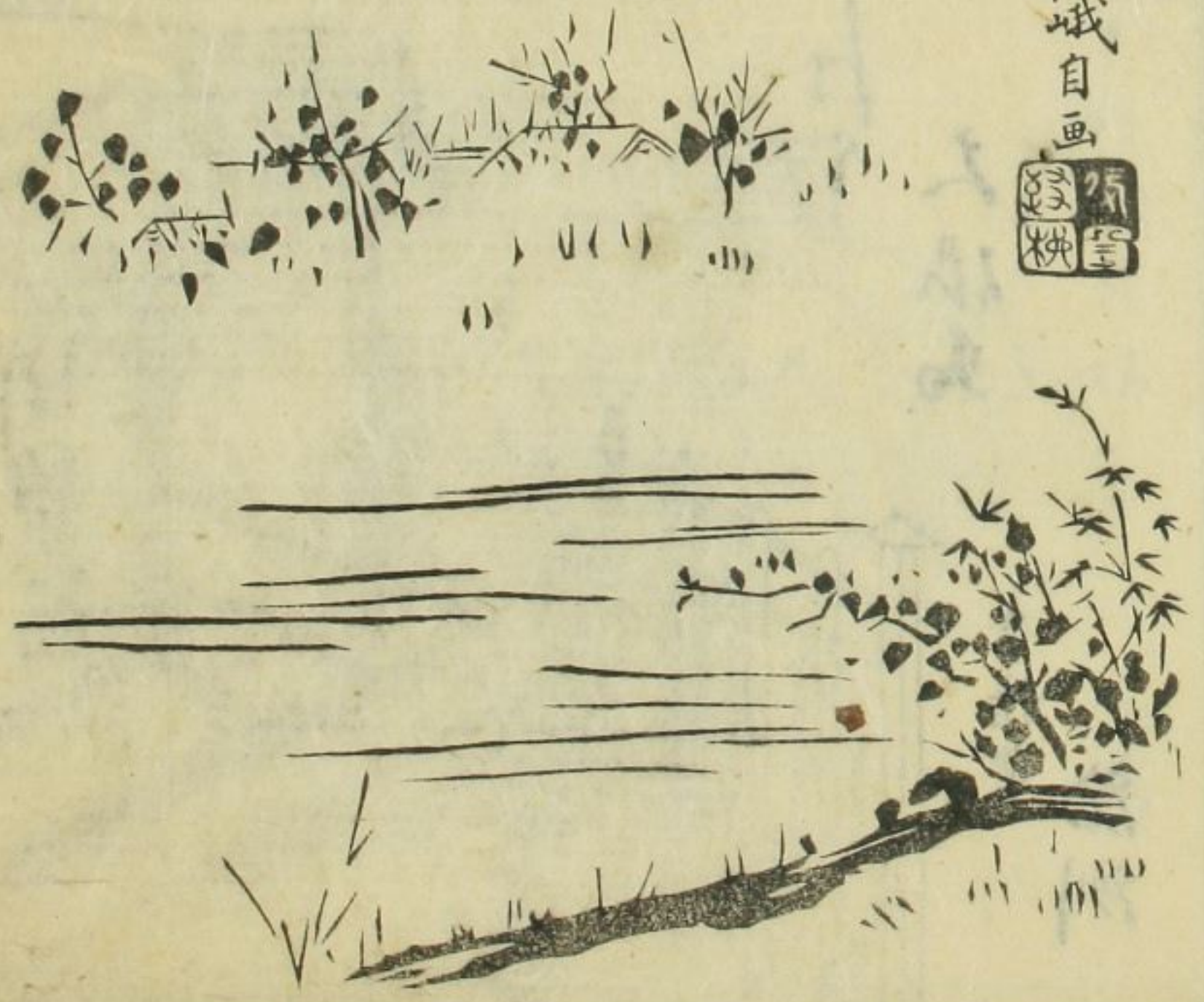


浮鳥

見好

顔

切



練馬大根



名譽心

あつてもやきやうのり大根馬

桃李

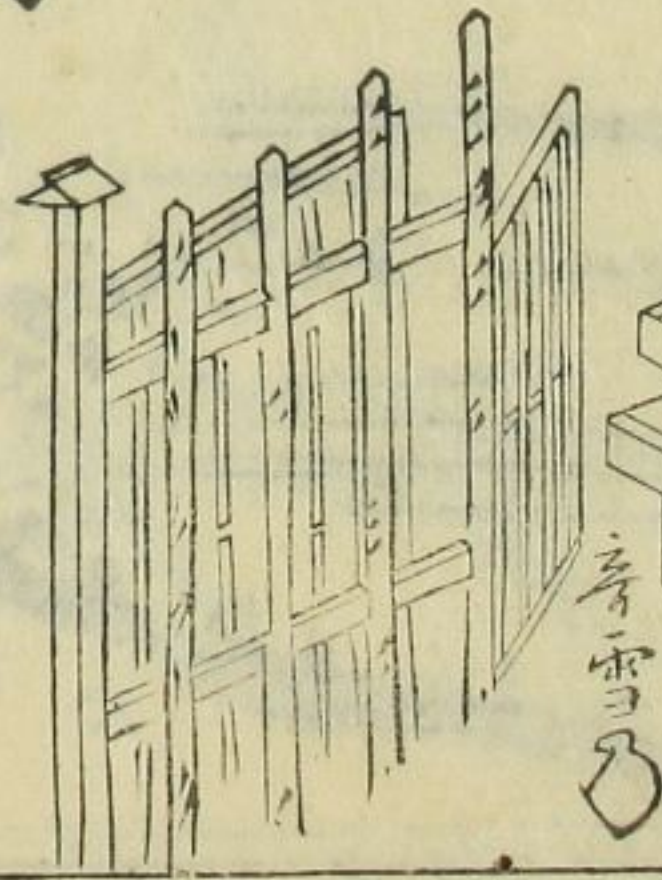
本町

角一丁

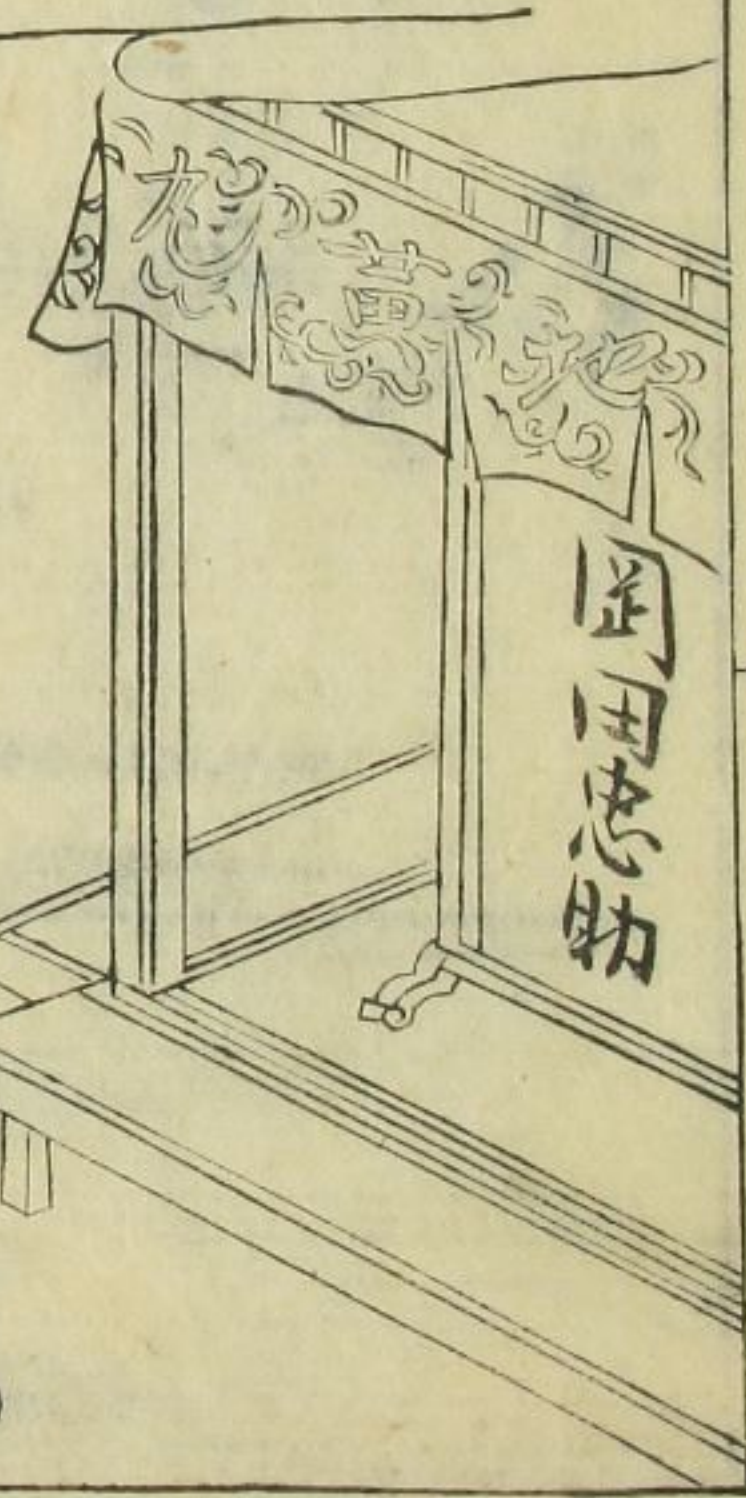
大根馬

青精堂

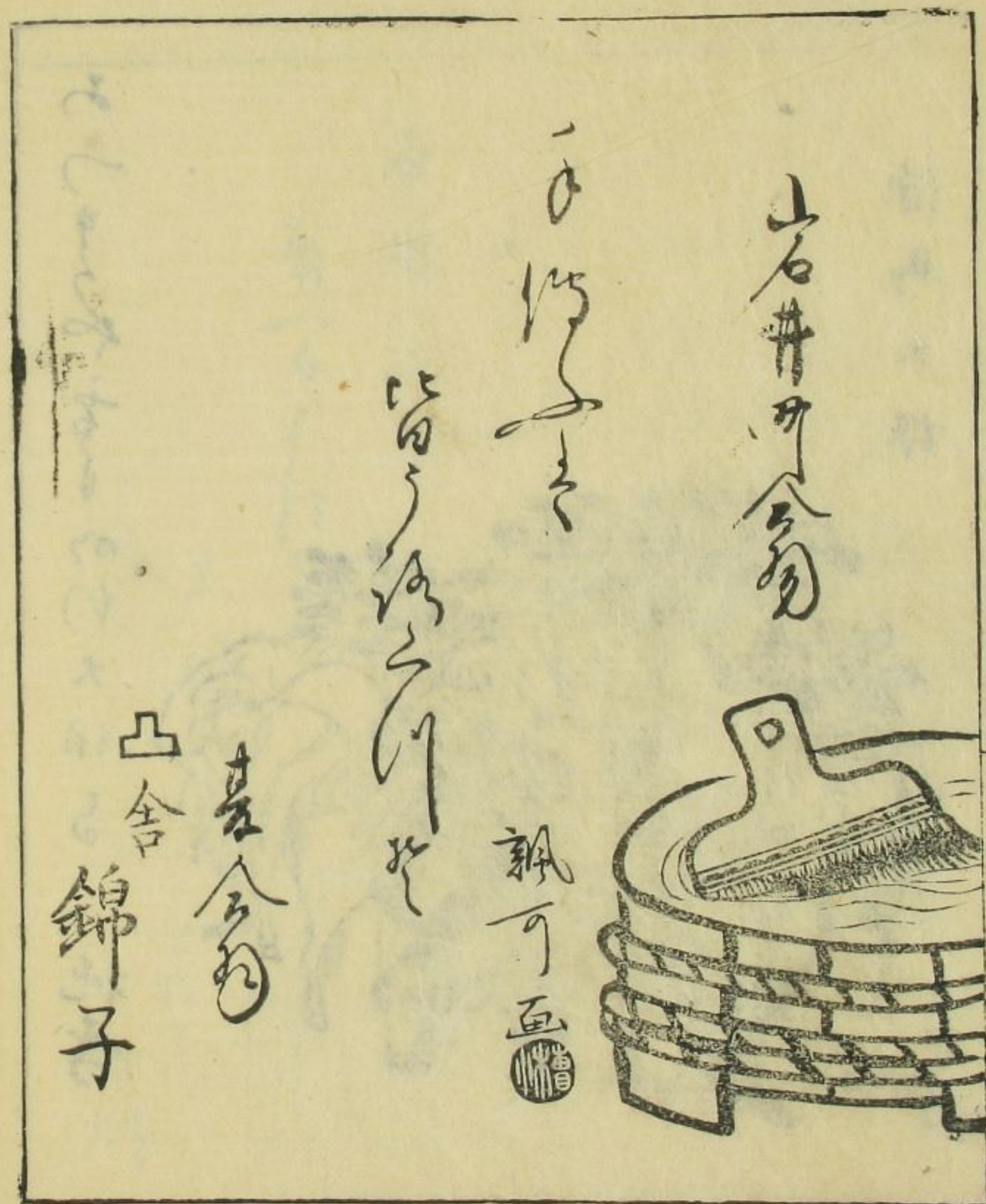
滄洲

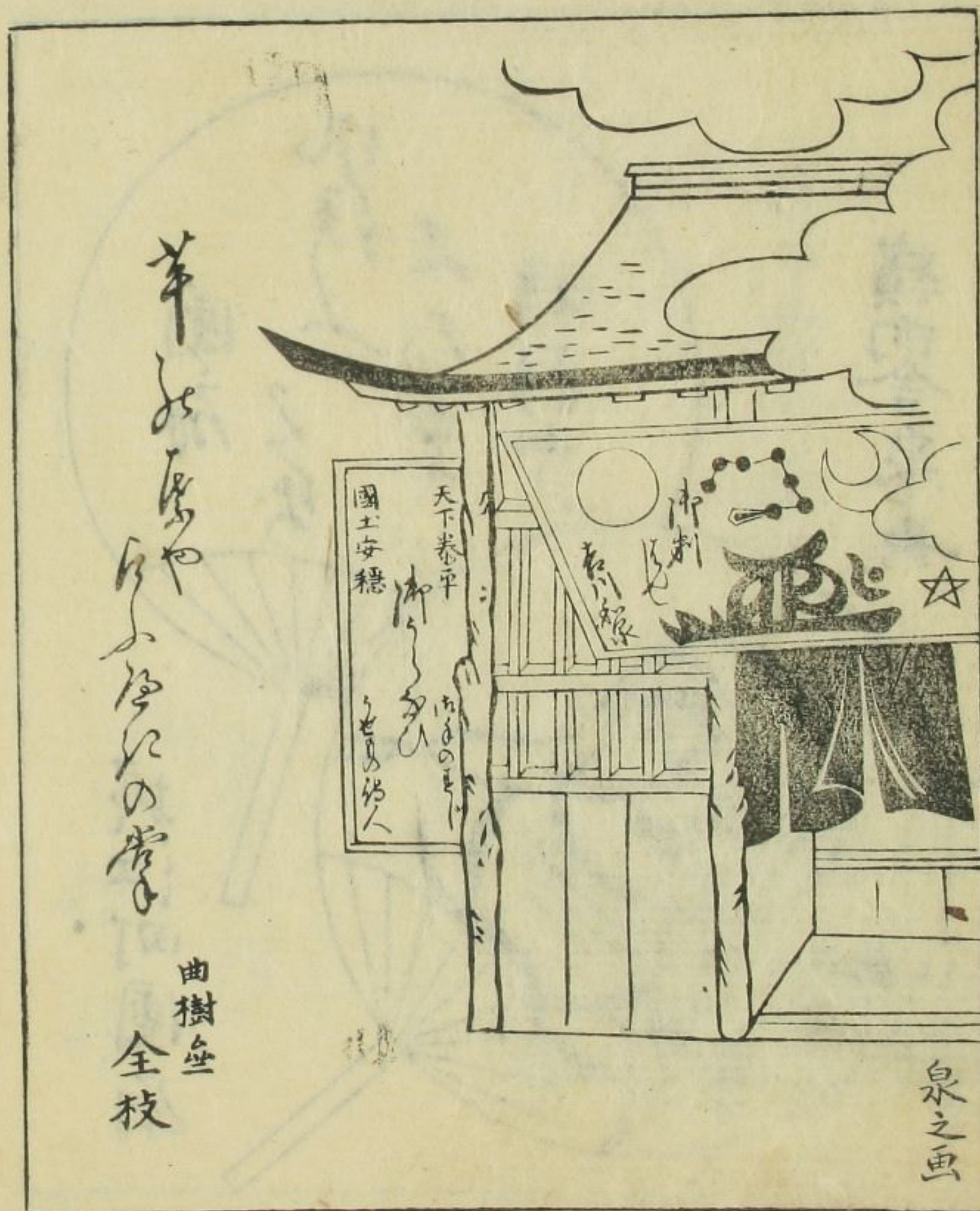


青雪乃



園田忠助





簾抱下
月如河

紅毛

花
香
酒

香
園

待野敬信筆



朱座

嵐夕画

ひらねい

あや

あや

あや

あや

了
柳園
臭子



北江

漢一書思德 卒風

冠駿香

根元家能也 兵庫

起てん

そけもつぬ

笹乃書

六月堂

所部

糸之画



水芝洞祇術

若木以美

也

雨

かふる

み

ふ

龍



重なる

花の

なま

奇なり

瀬戸物町乾物

吟系



花の

佳丁改
魚貫

名なり

潮や

山吹

も乃

花の

花の



阿蘭陀宿

お毛や

花笠亭

寿尺

福王雪岑筆



長候屋

栄と
さる

小細町白魚

一丈井

沾緑

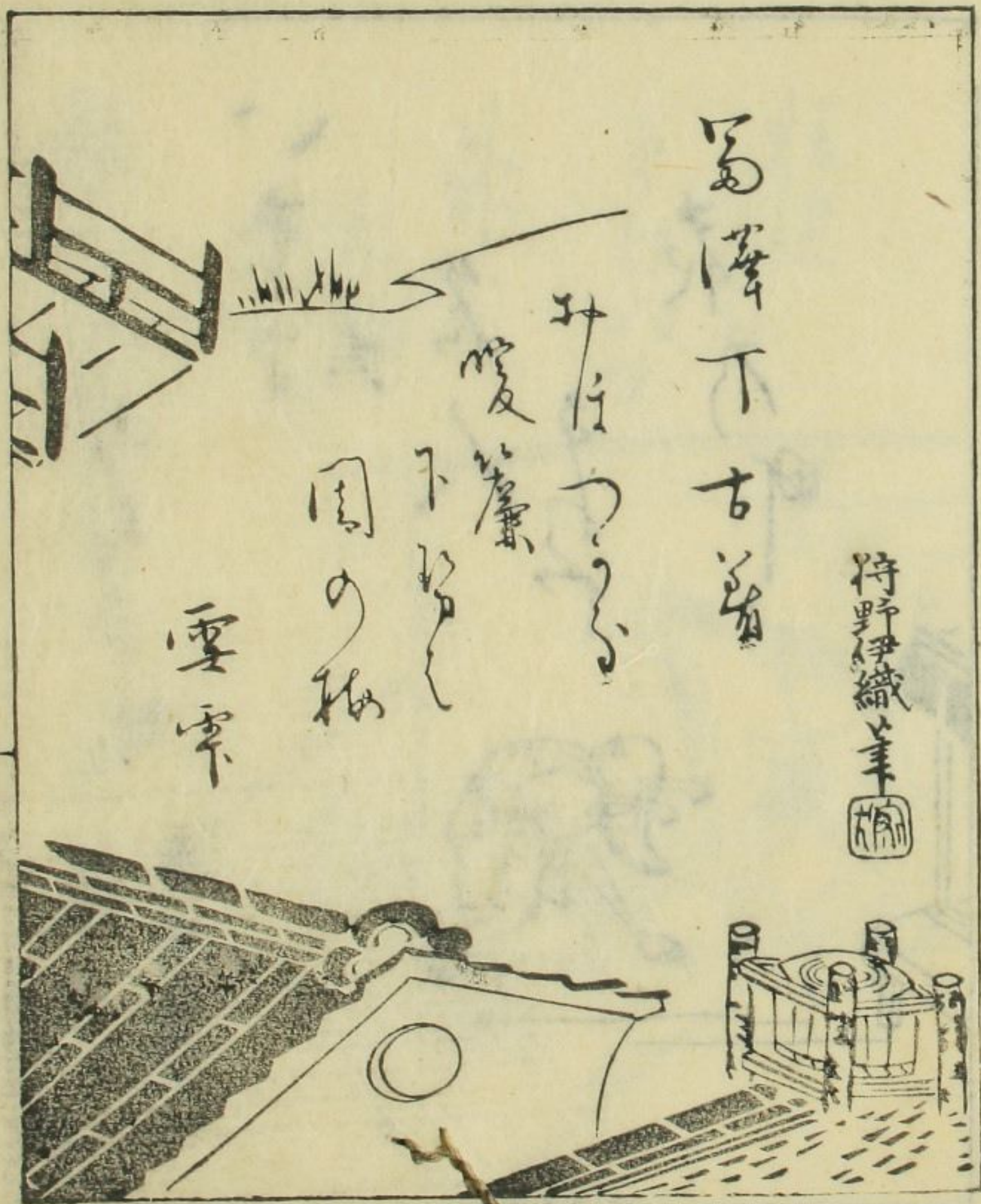
お魚や

深川

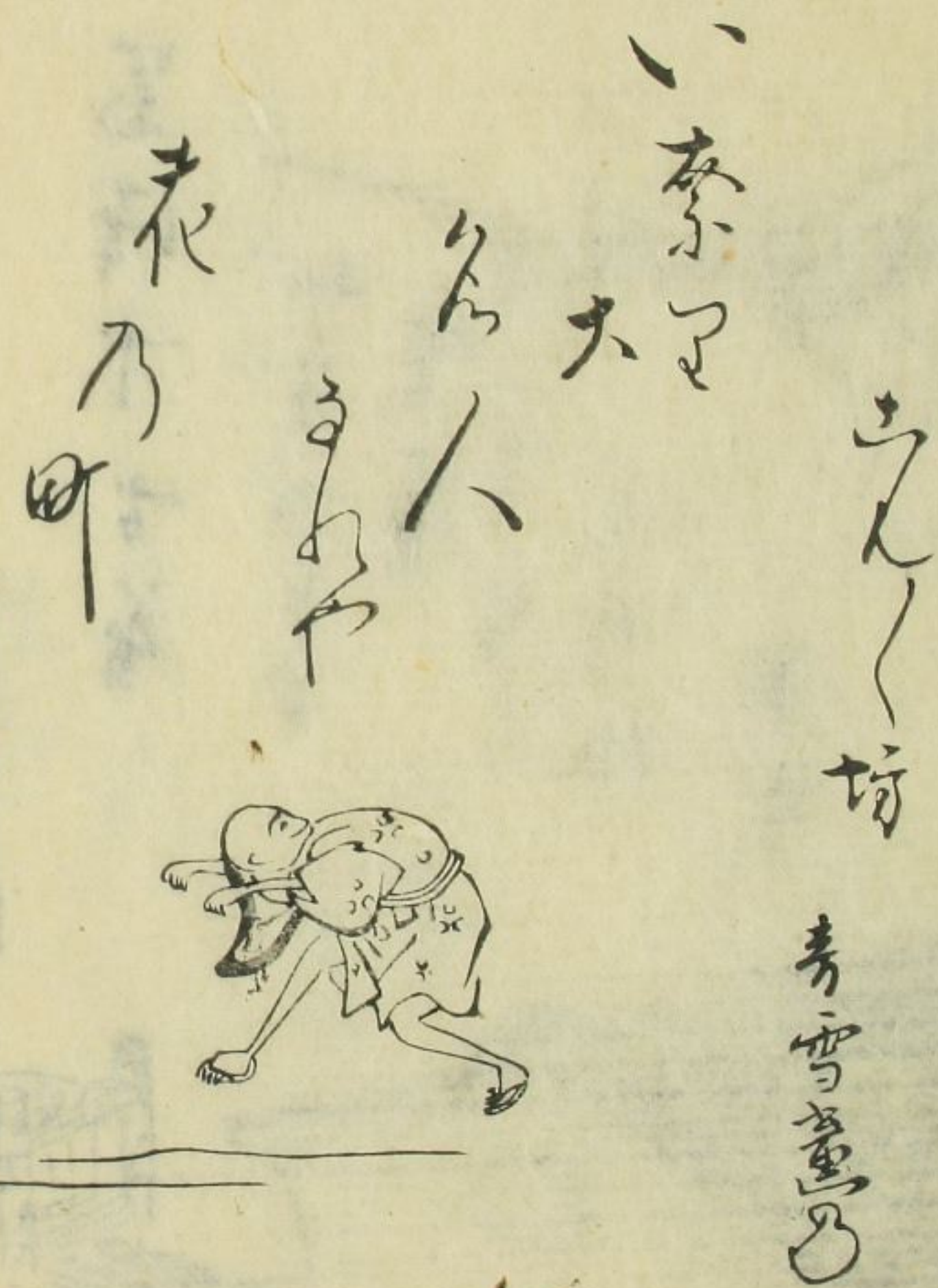
さる

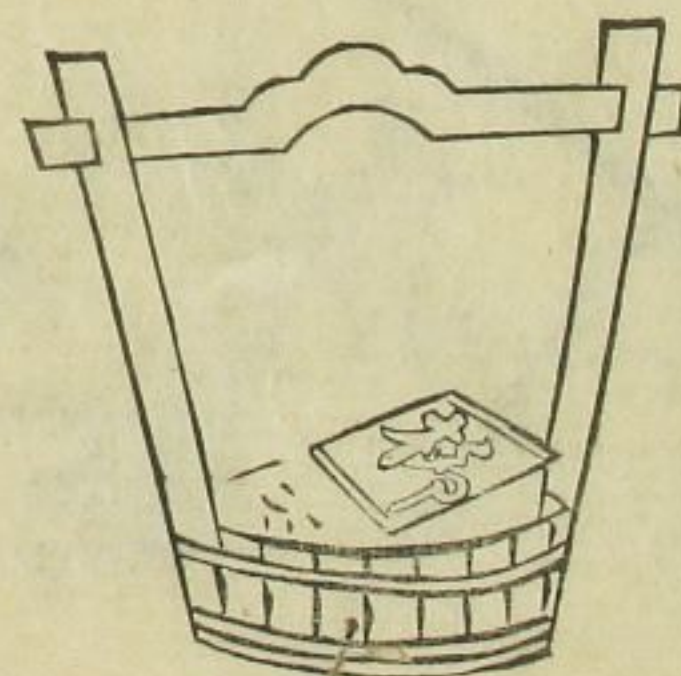
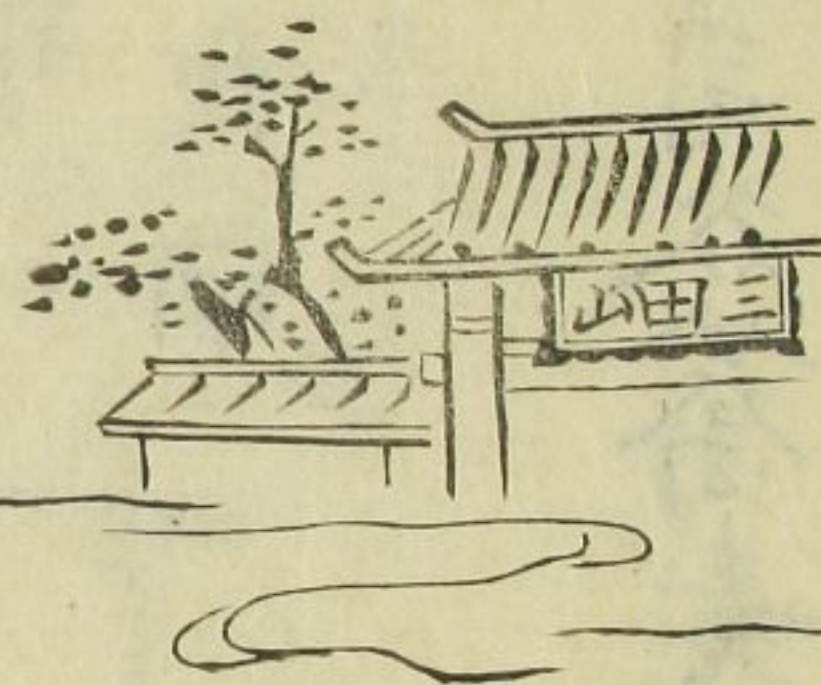
さる





雜司谷蕎麥切素扇





臭藍下柳豆腐
柳系種
ぬ乃方を度
繫凡



長壽堂

采玉のきくきと海菜の
 雲を思ふ所なり
 雷の光る戸も海菜のきくきも
 おねねのきくきと貴族の
 海菜のきくきと貴族の
 海菜のきくきと貴族の
 湯のきくきと貴族の
 湯のきくきと貴族の

麻子車經
小陸

志乃其也

曲巴堂
東舍

曲巴堂

東舍

白木陸

卜仙画

白不星

中村幼之

立園

却丸

離
壺

為毫

24

音雪

風流
七原ん
け



橋本所頼人

露調

あやうなやなせぐハ百傳りえ

書物
八

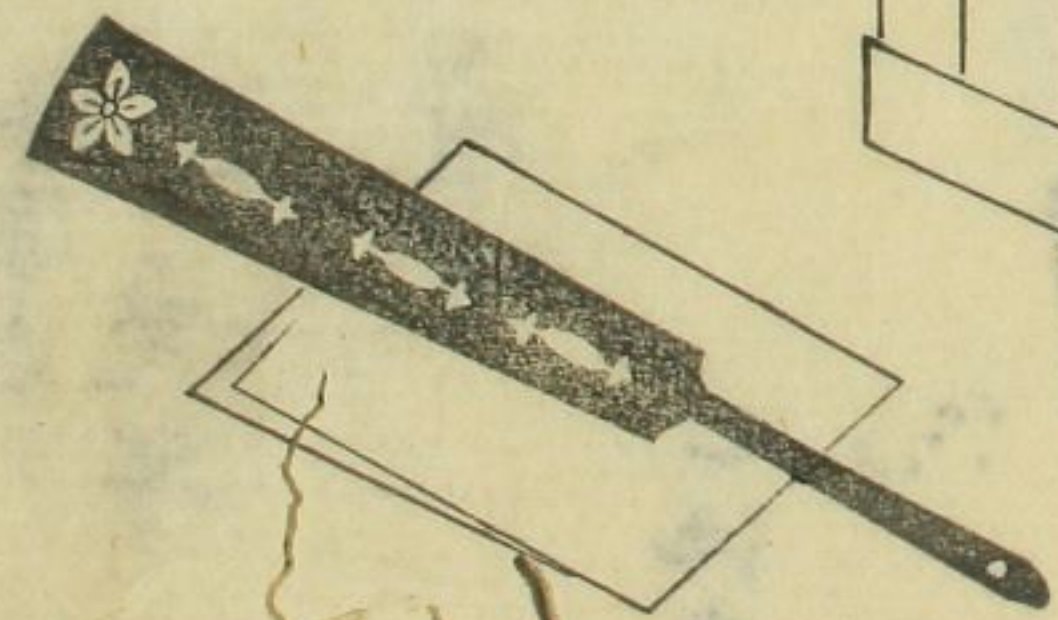
栗が光壽鞠

其何

花も

香あり

神田端 丈岳園



大傳馬町太物

水墨舎

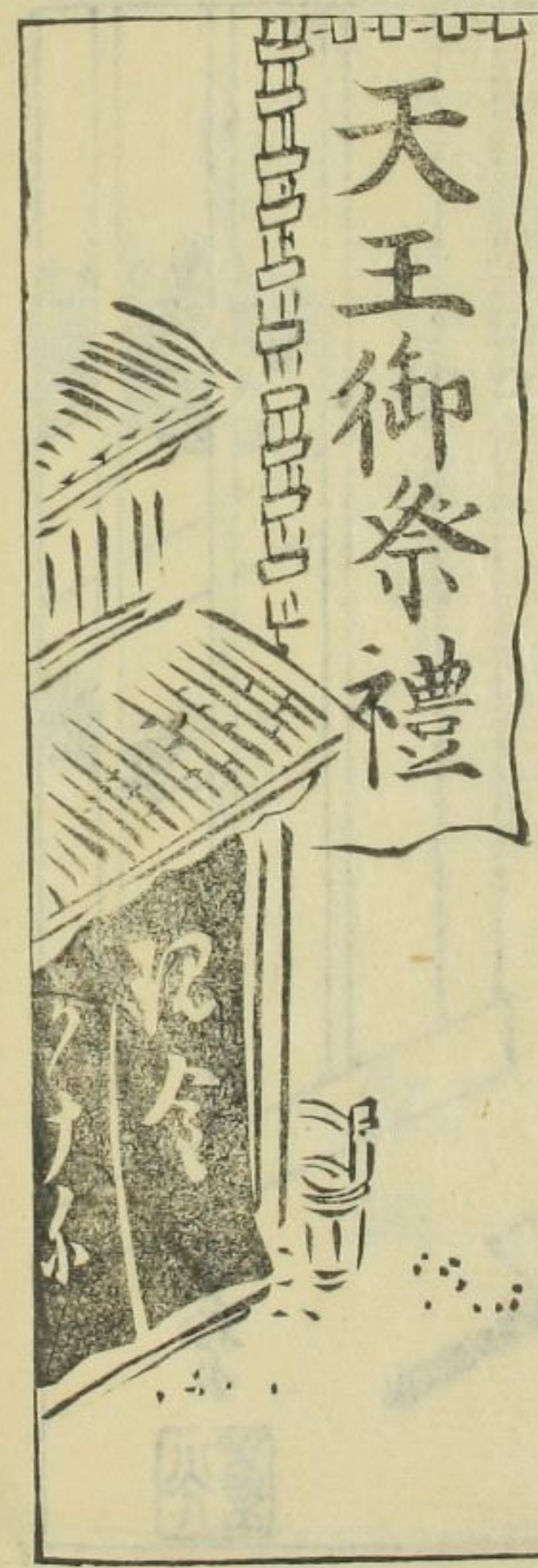
兎羊

涼

男世間乃其屋

一池女

天王御祭禮



題 楊南后沾洲

賊

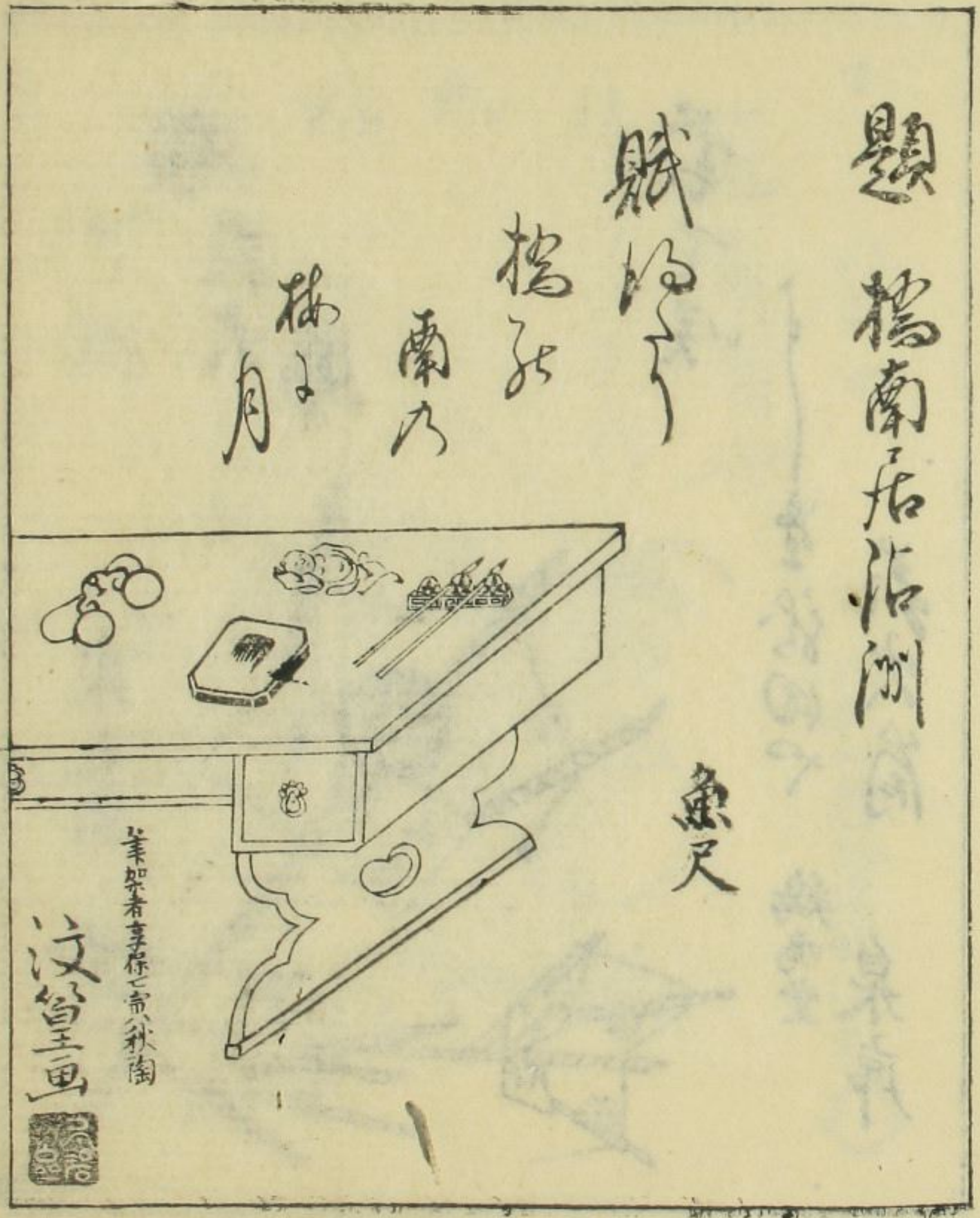
楊

南

后

沾

魚尺



筆如者享保七帝秋陶

文筆畫



題

花大

廊

泉之画

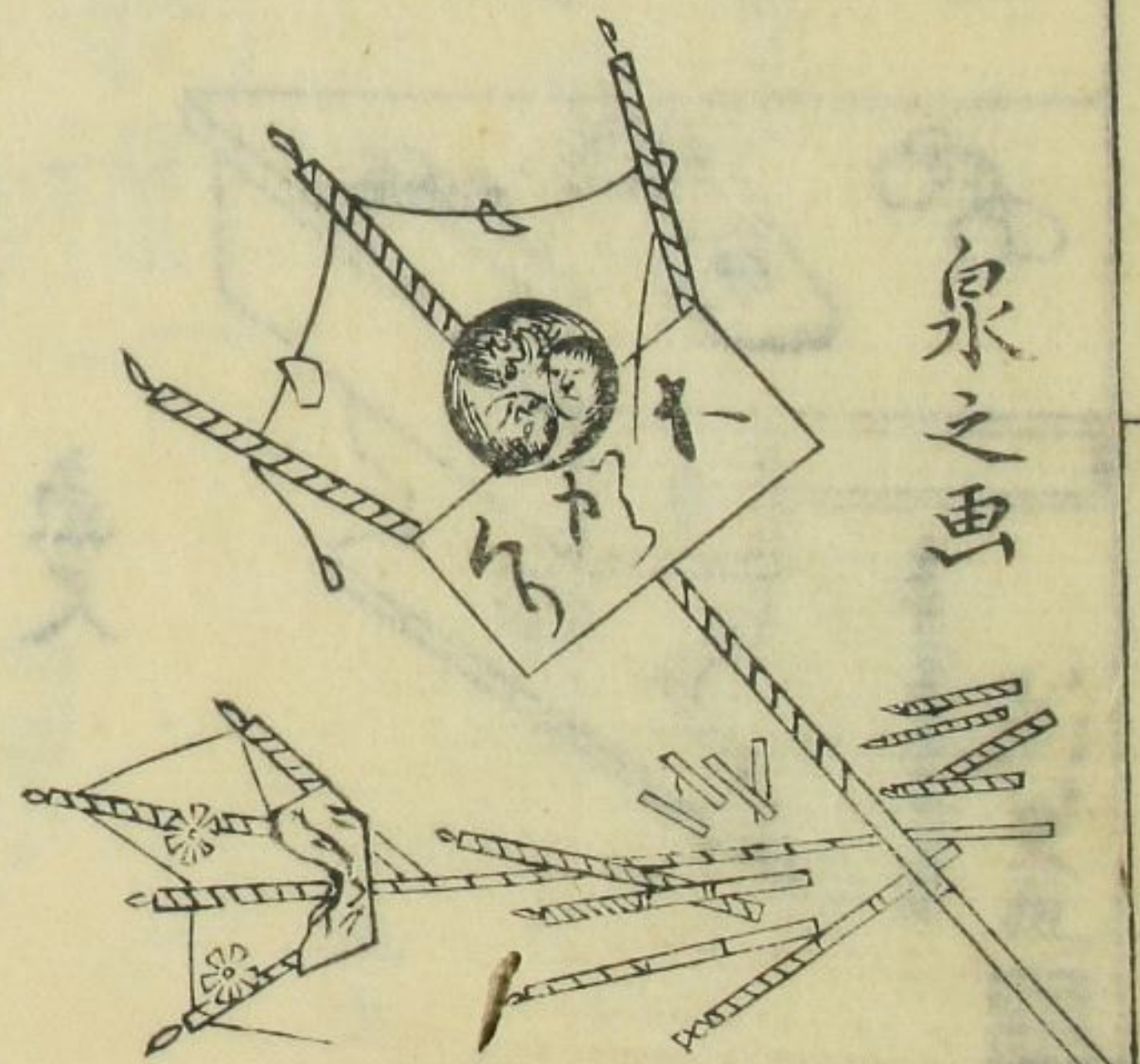
書之候

一生法也や

鶏鳴堂

花大角

泉席



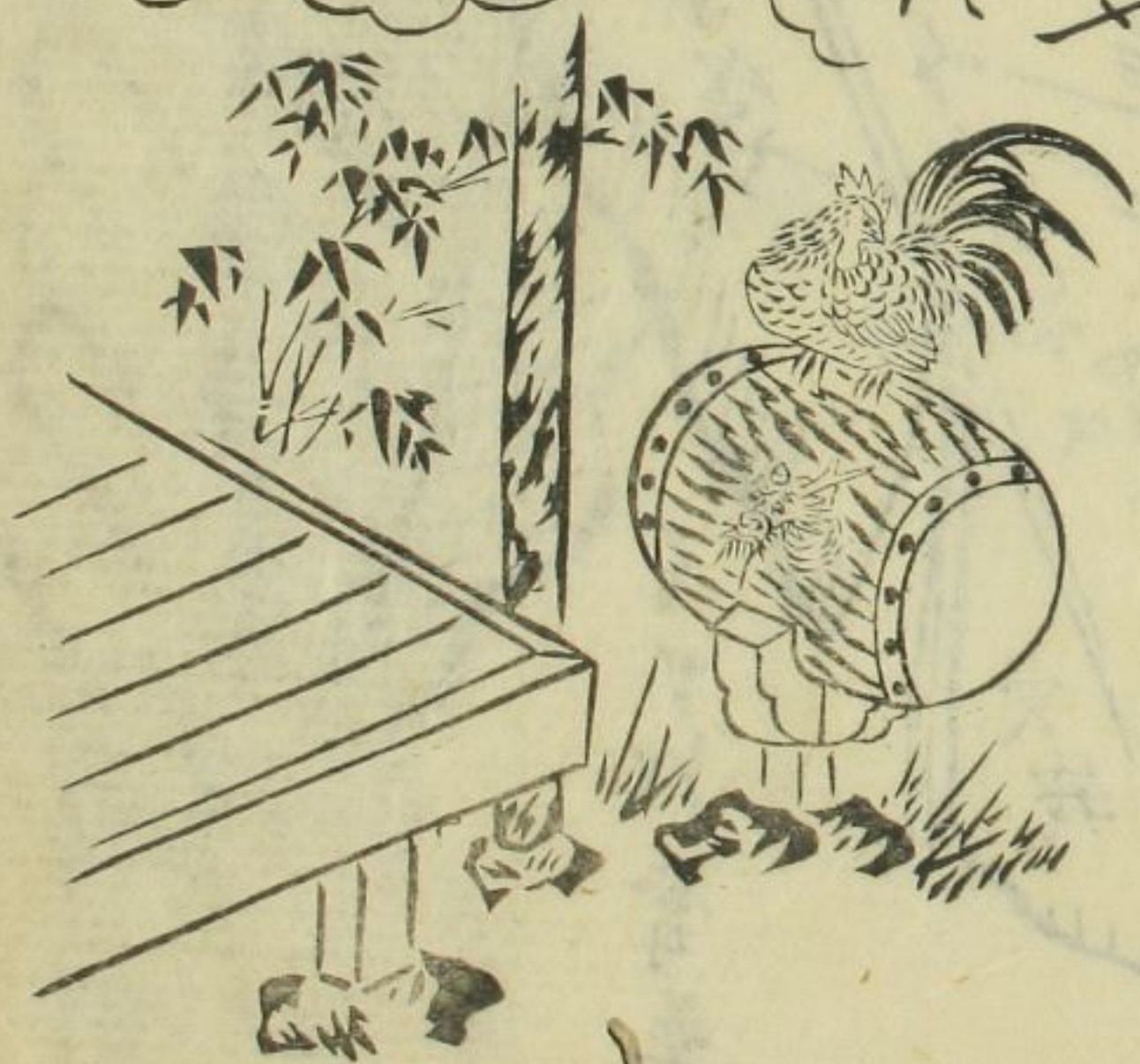
木乃髪の

冠貞香也

ほくま

太好店

可謂



侍野伊織藤原敬信筆の



清走相此

海山と跡に

痛な—



